

国際言語文化研究科 全学向け授業案内

2004年度全学向け「外国語特別研修コース」及び 「セミナー」について

国際言語文化研究科全学向け授業は「外国語特別研修コース」及び「セミナー」からなっています。「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体とした少人数による外国語授業、「セミナー」は外国語の学修を通して言語文化の知識を養い、異文化理解を深めることを目指す授業です。皆さんの積極的な受講を期待しています。

・ 授業科目（授業時間割表及び授業要覧は6ページ以降に掲載）

外国語特別研修コース

科 目		開講期間		科 目		開講期間	
		前期	後期			前期	後期
英 語	Level 2 a			ロ シ ア 語 中 国 語 ス ペ イ ン 語 ポ ル ト ガ ル 語	Level 1 a		
	Level 2 b				Level 1 b		
	Level 3 a				Level 2 a		
	Level 3 b				Level 2 b		
ド イ ツ 語	Level 1 a			古 典 ギ リ シ ア 語 ラ テ ン 語 イ タ リ ア 語	Level 1 a		
	Level 1 b				Level 1 b		
	Level 2 a			オ ラ ン ダ 語	Level 1		
	Level 2 b			ア イ ヌ 語	Level 1		
フ ラ ン ス 語 朝 鮮 ・ 韓 国 語	Level 1 a			注 授業 Level 1, 2, 3 は、この順で授業内容が高度になります。英語は、Level 1（初級レベル程度）は開講しません。			
	Level 1 b						
	Level 2 a						
	Level 2 b						
	Level 3 a						
	Level 3 b						

セミナー

科 目		開講期間	
		前期	後期
英 語	言語文化セミナー		
	言語表現セミナー		

・ 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

前期：2004年4月6日(火)
～2004年7月23日(金)
後期：2004年10月1日(金)
～2005年2月3日(木)

2. 休業日

夏季休業期間：2004年8月8日(日)
～2004年9月30日(木)
冬季休業期間：2004年12月28日(火)
～2005年1月7日(金)

3. 休講日

名大祭期間：
2004年6月3日(木)午後
～6月4日(金)
大学入試センター試験実施準備：
2005年1月14日(金) (予定)

4. 定期試験期間

前期：2004年7月26日(月)～8月6日(金)
後期：2005年2月4日(金)～2月18日(金)

5. 授業時間帯

第1時限 8：45～10：15
第2時限 10：30～12：00
第3時限 13：00～14：30
第4時限 14：45～16：15
第5時限 16：30～18：00

・ 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、研究生等及び本学職員です。

ただし、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生は受講できません。

受講手続きをするに当たっては、本冊子6ページ以降の授業時間割表の備考欄の記述に注意して下さい。

・ 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、国際言語文化研究科事務室で交付される所定の「全学向け授業辞退届」を、必ず授業担当教員に提出して下さい。この手続きを行わずに受講放棄すると、以後、受講を認めないことがあります。

・ 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関することは、国際言語文化研究科棟1階掲示板(玄関左側)で通知します。

・ 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部局長あてに通知します。
2. 職員については、本人に通知します。

・ 受講申込み手続き

1. 外国語特別研修コース

英 語

申込場所

国際言語文化研究科事務室前(4ページの配置図を参照)

申込期間及び時間

期間：2004年3月29日(月)
～4月2日(金)

時間：9：30～12：00
13：00～17：00

* 申込期間以後は受け付けませんので注意して下さい。

申込方法

「受講申し込みカード」は国際言語文化研究科1階演習室(玄関入って右)においてあります。

学部学生・大学院生・研究生等及び職員用：黄色(四連)

受講希望者は、該当するカードに必要な事項を記入し、上半分2片(事務室保存用)だけを事務室前の提出箱に入れて下さい。下半分2片「本人及び教員保存用」は各自お持ち下さい。

受講手続き

1. 「英語 Level 2」及び「英語 Level 3」の受講を希望する人はすべて、TOEIC公開試験あるいはその模擬問題集によって得た自分の英語力の点数を、受講申請の際に記入せねばなりません。TOEIC受験、あるいはその模擬問題集の採点は各自で行って下さい。
 - 1) その模擬問題集の一例を以下に紹介しておきます。
 - (1) 『TOEIC公式ガイド&問題集 Vol.2』(国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC運営委員会、2002年) 2,800円
 - (2) 『TOEICテストまるごと模試』(アルク、2002年) 1,200円
 - (3) 『TOEIC テスト完全攻略』(CD-

ROM・Win対応) (旺文社、2002年)

6,800円

- 2) 受講希望者は、TOEICあるいはその模擬問題集によって知り得た自分の英語力のレベルに応じて、「英語 Level 2」あるいは「英語 Level 3」のどちらかを選択し、申請しなければなりません。その際、次の目安を参考にしてください。

英語 Level 2 受講者の英語力の目安：
TOEIC 650点以上～749点以下

英語 Level 3 受講者の英語力の目安：
TOEIC 750点以上

2. 受講申し込みの詳細は以下の通りです。

申し込み方法：受講希望者は、「受講申し込みカード」に必要事項を記入の上、4月2日(金)17時までに国際言語文化研究科事務室前の提出箱に入れてください。お持ちになった本人保存用および教員保存用の紙片に記載してある受講受付番号が事務手続きに必要となりますので、必ずその紙片を第1週目の授業時に持参してください。

カード記入事項：「受講申し込みカード」には、記入する必要がある事柄として、次の項目が含まれています。

- (1) TOEICの点数。TOEICの模擬問題集を使って自己採点した結果でも可。
- (2) 希望する Level。英語 Level 2 あるいは英語 Level 3 のどちらか。
- (3) 希望するクラス。(2)で決めたカテゴリーの中から受講したいクラスを3つまで。

3. 受講可能人数を超える場合は提出された「受講申し込みカード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します(決定後の問い合わせには応じません)。ただし、定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

4. 各授業の受講調整の結果は、4月5日(月)8時30分(予定)までに国際言語文化研究科棟1階提示板(玄関左側)に掲示されます。

5. 第1週の授業を無断で欠席した学生

は、受講放棄とみなしますのでご注意ください。この件に関する学生からの質問などに対して、国際言語文化研究科事務室は対応しません。

6. 第1週目の授業時に担当教員に教員保存用紙片を渡してください。なお決定された授業からの辞退は認められません。
7. 外国語特別研修コースの英語は、級を問わず一期に一クラスしか受講できません。

英語以外の外国語

受講手続きは、次のとおりです。なお、希望者が多数の場合は第1週の授業時に受講調整を行います。

学部学生、大学院生・研究生等及び職員は、下記の1)から3)に従って配付場所で受講申込カードを受け取り、第1週の授業時に担当教員に教員保存用「受講票」を提出して下さい。なお、4)の受講者登録手続きも必ず行って下さい。

- 1) 受講申込カード配付場所

国際言語文化研究科事務室(4ページの配置図を参照)

- 2) 配付期間及び配付時間

期 間：2004年3月29日(月)～

4月13日(火)

時 間：平日 9:30～17:00

- 3) 配付カード

青色(三連)

- 4) 受講登録手続

授業時の受講調整後、受講が許可された授業科目について、「受講申し込みカード」のうち受講申込票(事務室保存用)を国際言語文化研究科事務室に提出して下さい(締切厳守)。

期 間：2004年4月6日(火)～

4月19日(月)

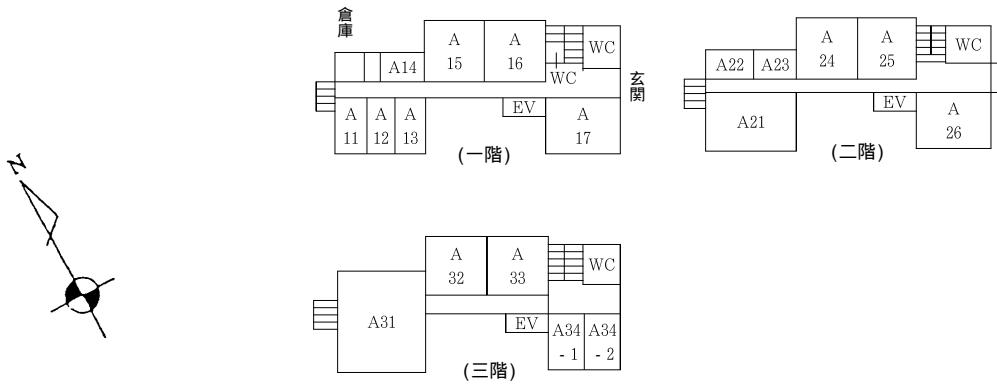
時 間：平日 9:30～17:00

2. セミナー

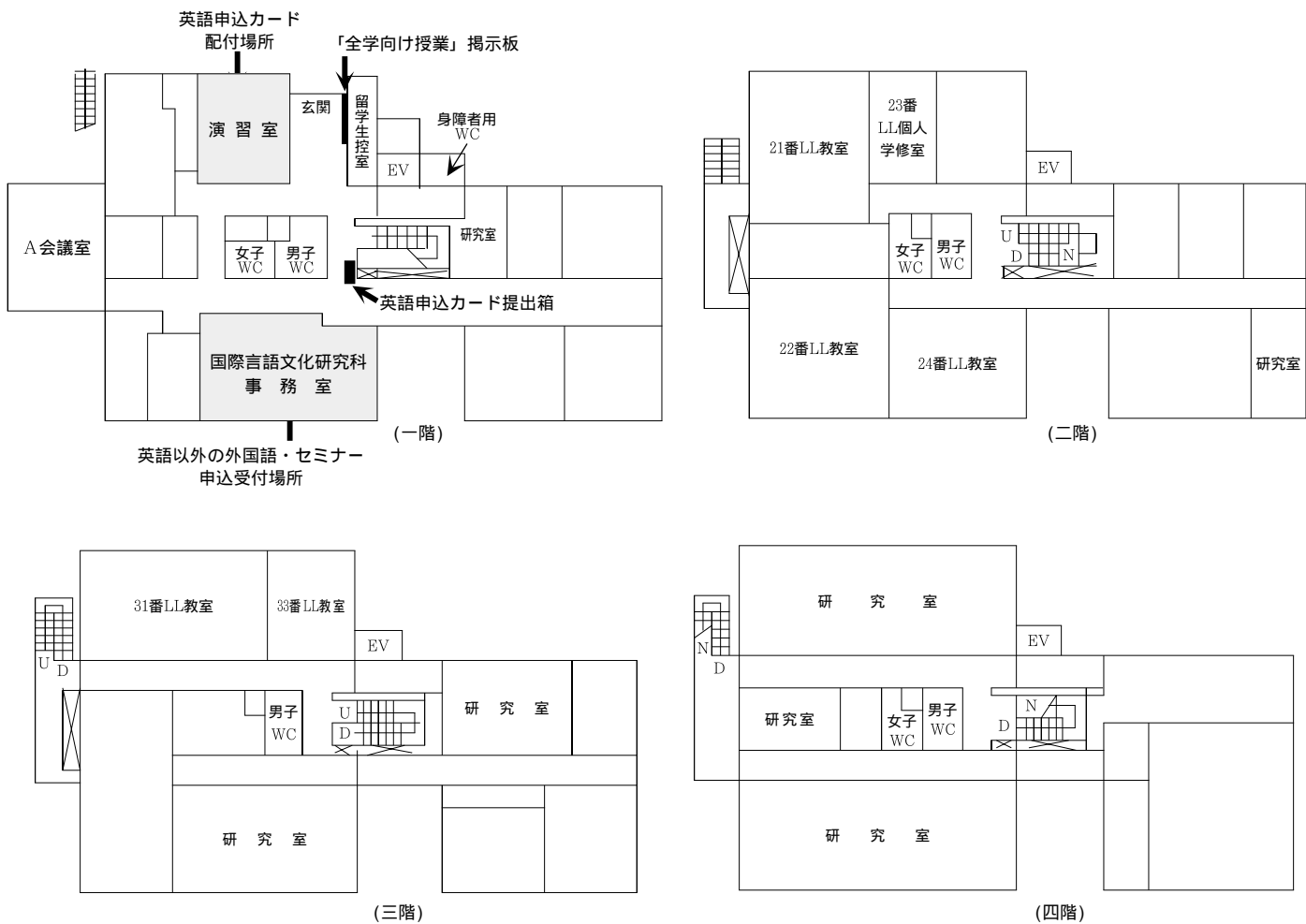
外国語特別研修コースの「英語以外の外国語」受講申込方法に準じ手続きを行って下さい。

全学教育棟及び国際言語文化研究科棟教室配置図

《全学教育棟 A館》



《国際言語文化研究科棟》



「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	担 当 教 員	曜 日 (時 限)	教 室	定 員	備 考
英 語	英語 Level 2a	D.Ramsey	月 (2)	36番	20	
	英語 Level 2a	M.C.Weeks	火 (2)	A12	20	
	英語 Level 2a	Chua Liang	火 (4)	語24	20	
	英語 Level 2a	E.T.W.Haig	水 (3)	37番	20	
	英語 Level 2a	D.Ramsey	水 (4)	41番	20	
	英語 Level 2a	Chua Liang	木 (2)	語33	20	
	英語 Level 2a	M.C.Weeks	木 (3)	語24	20	
	英語 Level 2a	E.T.W.Haig	金 (2)	語24	20	
	英語 Level 3a	D.Ramsey	月 (4)	36番	20	
	英語 Level 3a	M.C.Weeks	水 (2)	語31	20	
	英語 Level 3a	Chua Liang	木 (4)	語22	20	
	英語 Level 3a	E.T.W.Haig	金 (4)	A25	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1b	西 川 智 之	木 (4)	語21	20	前年度後期から継続
	ドイツ語 Level 2a	K.v.Heuduck	水 (3)	38番	20	後期に継続
	ドイツ語 Level 2a	浪 川 幸 彦	金 (4)	A33	20	
フ ラ ンス 語	フランス語 Level 1a	飯 野 和 夫	火 (5)	語21	20	後期に継続
	フランス語 Level 2a	J.L.Pagès	水 (4)	42番	20	後期に継続
	フランス語 Level 3a	J.L.Pagès	火 (3)	41番	20	後期に継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1a	郡 敏 子	火 (2)	A13	20	後期に継続
	ロシア語 Level 2a	山崎 タチアナ	金 (3)	A26	20	後期に継続
中 国 語	中国語 Level 1a	加 納 光	水 (1)	32番	20	後期に継続
	中国語 Level 2a	劉 欣	水 (3)	39番	20	後期に継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1a	杓 谷 茂 樹	水 (4)	43番	20	後期に継続
	スペイン語 Level 2a	宮 下 克 子	木 (4)	語24	20	後期に継続
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1a	洪 順 愛	金 (3)	A27	20	後期に継続
	朝鮮・韓国語 Level 2a	金 元 榮	月 (4)	11番	20	後期に継続
	朝鮮・韓国語 Level 3a	飯 田 秀 敏	月 (5)	国言棟1階 演習室	20	後期に継続
古典ギリシア語	古典ギリシア語 Level 1a	有 川 貫太郎	月 (4)	32番	20	後期に継続
ポルトガル語	ポルトガル語 Level 1a	兼安シルビア典子	木 (3)	語33	20	後期に継続
	ポルトガル語 Level 2a	兼安シルビア典子	木 (4)	語33	20	後期に継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1a	水 戸 博 之	火 (4)	語21	20	後期に継続
オランダ語	オランダ語 Level 1	小 坂 光 一	水 (2)	語33	20	
イタリヤ語	イタリア語 Level 1a	C.Galisch	水 (4)	46番	20	後期に継続

「言語文化・表現セミナー」

	授 業 科 目	担 当 教 員	曜 日 (時 限)	教 室	定 員	備 考
英 語	言語文化セミナー	滝 沢 直 宏	月 (3)	15番	20	全学部
	言語文化セミナー	長 畑 明 利	火 (5)	35番	20	全学部
	言語文化セミナー	福 田 眞 人	木 (3)	語31	20	全学部
	言語表現セミナー	大 名 力	火 (2)	サブラボB	20	全学部
	言語表現セミナー	杉 浦 正 利	水 (3)	情メ*	20	全学部
	言語表現セミナー	E.T.W.Haig	金 (3)	A25	20	全学部

* 「情メ」の教室については、決まり次第国際言語文化研究科棟1階掲示板に掲示します。

「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	担 当 教 員	曜 日 (時 限)	教 室	定 員	備 考
英 語	英語 Level 2b	D.Ramsey	月 (2)	語33	20	
	英語 Level 2b	Chua Liang	火 (4)	語33	20	
	英語 Level 2b	E.T.W.Haig	水 (2)	語21	20	
	英語 Level 2b	D.Ramsey	水 (4)	語21	20	
	英語 Level 2b	M.C.Weeks	木 (3)	A17	20	
	英語 Level 2b	E.T.W.Haig	金 (2)	42番	20	
	英語 Level 2b	M.C.Weeks	金 (3)	A34	20	
	英語 Level 3b	D.Ramsey	月 (4)	語21	20	
	英語 Level 3b	M.C.Weeks	水 (3)	語22	20	
	英語 Level 3b	E.T.W.Haig	金 (4)	語33	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1a	有 川 貫 太 郎	火 (4)	41番	20	次年度に継続
	ドイツ語 Level 2b	J.Peters	火 (3)	語21	20	前期から継続
	ドイツ語 Level 2b	前 野 み ち 子	金 (2)	A34	20	
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1b	田 所 光 男 新 井 美 佐 子	金 (5)	語24	20	前期から継続
	フランス語 Level 2b	J.L.Pagès	水 (4)	サブラボB	20	前期から継続
	フランス語 Level 3b	J.L.Pagès	火 (3)	41番	20	前期から継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1b	郡 敏 子	火 (2)	語21	20	前期から継続
	ロシア語 Level 2b	山 崎 タチアナ	金 (3)	語24	20	前期から継続
中 国 語	中国語 Level 1b	加 納 光	水 (2)	語22	20	前期から継続
	中国語 Level 2b	前 田 光 子	月 (3)	語21	20	前期から継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1b	杓 谷 茂 樹	水 (4)	語24	20	前期から継続
	スペイン語 Level 2b	宮 下 克 子	木 (4)	語22	20	前期から継続
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b	洪 順 愛	金 (3)	15番	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b	金 元 榮	火 (4)	語24	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 3b	飯 田 秀 敏	月 (5)	15番	20	前期から継続
古 典 ギ リ シ ア 語	古典ギリシア語 Level 1b	有 川 貫 太 郎	金 (3)	32番	20	前期から継続
ポ ル ト ガ ル 語	ポルトガル語 Level 1b	兼安シルビア典子	木 (3)	語33	20	前期から継続
	ポルトガル語 Level 2b	兼安シルビア典子	木 (4)	語33	20	前期から継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1b	水 戸 博 之	火 (4)	語21	20	前期から継続
ア イ ヌ 語	アイヌ語 Level 1	小 坂 光 一	水 (2)	語33	20	
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1b	C.Galisch	水 (4)	語22	20	前期から継続

「言語文化・表現セミナー」

	授 業 科 目	担 当 教 員	曜 日 (時 限)	教 室	定 員	備 考
英 語	言語文化セミナー	田 野 勲	月 (4)	語22	20	全学部
	言語文化セミナー	上 原 早 苗	木 (3)	A32	20	全学部
	言語文化セミナー	吉 村 正 和	金 (5)	語33	20	全学部
	言語表現セミナー	滝 沢 直 宏	月 (3)	語31	20	全学部
	言語表現セミナー	長 畑 明 利	木 (3)	36番	20	全学部
	言語表現セミナー	外 池 俊 幸	金 (3)	33番	20	全学部

外国語特別研修コース

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 Level 2a	D. Ramsey	月(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course aims to develop listening, speaking, and critical thinking skills.</p> <p>履修条件・関連する科目等 An eagerness to think deeply about cultural values.</p> <p>授業内容 This fun and popular course will introduce students to popular cultural analysis. We will consider art, advertisements, toys, clothes, and other cultural products and interpret the meanings and values that these products convey within a social context.</p> <p>The first part of the semester will be spent developing critical thinking skills, with students preparing some readings and asking questions in class. We will then look at reproductions of paintings and analyze the meaning of these paintings in terms of social values such as race, class, and gender. We will then look at advertisements in magazines and newspapers, applying the same critical skills that we applied to painting. We will then look at toys, clothes, and other products and similarly analyze and interpret the social values or cultural messages that they contain.</p> <p>Some activities (especially in the beginning of the semester) will be done together as a class, but most activities will involve students working in small discussion groups.</p> <p>成績評価の方法 Regular attendance and active class participation; report.</p> <p>参考書 Dictionary.</p> <p>注意事項 Students will be responsible for bringing in objects and articles appropriate to the topics discussed.</p>
英語 Level 2a	M.C.Weeks	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim is to develop and practice language skills that will be useful for traveling or living abroad. We also hope to learn about and discuss cultural differences and how to live with them.</p> <p>授業内容 This course includes practical English learning for life abroad, for situations such as checking into a hotel, organizing travel, eating in a formal restaurant or making informal conversation while traveling. There will also be discussion of cultural differences that may help us to feel more confident and relaxed while abroad. We will do some pronunciation practice so that we can be understood easily and so communicate more effectively. Watching videos related to travel will give us some useful listening practice.</p> <p>Classes include a wide variety of activities, with the emphasis on group and pair work, including group problem-solving and games, to increase the amount of conversation we do. There will be some reading homework.</p> <p>成績評価の方法 participation 35%, final conversation 35%, report 30%</p> <p>教科書 Nil. All materials supplied by teacher.</p> <p>参考書 A good dictionary, preferably English-English</p> <p>注意事項 English is the language of the classroom. Students more than 15 minutes late will be marked absent.</p>
英語 Level 2a	Chua Liang	火(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to develop listening skills and build fluency when conversing and when addressing an audience. The focus is on equipping students with skills and practice not just to speak but more importantly to converse and answer questions at a presentation. The goal is to help students become confident when speaking English.</p> <p>授業内容 Classes are conducted entirely in English. Class time is spent on both teaching and student-centred activities. The instructor will discuss communication techniques and strategies; help students find the right words for their expressions; elaborate on points of grammar; as well as help students refine their pronunciation. Activities include pair work, group work and whole class exercises involving information sharing and role playing to encourage real communication. Students will practise speaking English in different scenarios. They will learn how to</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2a	Chua Liang	火(4)	20	<p>converse, how to seek information, how to present information, how to tell others about themselves, how to ask about others, how to use language in difficult situations and so on. The emphasis is on communicative competence and on preparation for situations which students are likely to find themselves in. It is hoped that through practice, students will grow in their confidence and use their knowledge of English effectively. The materials and topics used in class are up-to-date, relevant and interesting to young people. Students will also analyse, discuss and present materials in English. Presenters are expected to answer questions from the audience.</p> <p>成績評価の方法 Attendance, participation, homework and an examination.</p> <p>教科書 <i>Changes Student's Book 3</i>, Jack C. Richards, Jonathan Hull, Susan Proctor and David Haines, Cambridge University Press.</p> <p>参考書 <i>Practical English Usage</i>, Michael Swan, Oxford University Press.</p>
英 語 Level 2a	E.T.W.Haig	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい To develop students' confidence and spontaneity in spoken interaction. A further aim is to allow students the chance to participate in a form of drama which most of them will never have experienced before improvisation.</p> <p>授業内容 This course is based on improvised drama games. Students work in teams to perform short improvised scenes in English. These scenes do not require any memorization of scripts but rely instead on students' imaginations. The aim is to create a cooperative and supportive environment in which students develop their ability to work with whatever communication resources they possess. This is not an academic content-based course and there will be no discussion of 'issues' or attention paid to accuracy. The focus is firmly fixed on fluency, fantasy and fun.</p> <p>During the first few lessons of the course, the basic ideas behind improvised drama will be introduced to the students as they work in small groups to invent their own skits and sketches. As they develop their improvisation abilities, students will be given a number of progressively challenging improvisation games and tasks to perform. Towards the end of the course students will be introduced to the exciting improvised drama game format known as Theatre Sports. This is a lively team game in which teams of actors compete with each other to perform various kinds of improvisations.</p> <p>成績評価の方法 Regularity of attendance and degree of active participation.</p> <p>注意事項 Students will be expected to expect the unexpected!</p>
英 語 Level 2a	D.Ramsey	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course aims to develop listening, speaking, and critical thinking skills.</p> <p>履修条件・関連する科目等 An eagerness to think deeply about cultural values.</p> <p>授業内容 This fun and popular course will introduce students to popular cultural analysis. We will consider art, advertisements, toys, clothes, and other cultural products and interpret the meanings and values that these products convey within a social context.</p> <p>The first part of the semester will be spent developing critical thinking skills, with students preparing some readings and asking questions in class. We will then look at reproductions of paintings and analyze the meaning of these paintings in terms of social values such as race, class, and gender. We will then look at advertisements in magazines and newspapers, applying the same critical skills that we applied to painting. We will then look at toys, clothes, and other products and similarly analyze and interpret the social values or cultural messages that they contain.</p> <p>Some activities (especially in the beginning of the semester) will be done together as a class, but most activities will involve students working</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 Level 2a	D.Ramsey	水(4)	20	in small discussion groups. Regular attendance and active class participation; report. 参考書 Dictionary. 注意事項 Students will be responsible for bringing in objects and articles appropriate to the topics discussed.
英語 Level 2a	Chua Liang	木(2)	20	本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to develop listening skills and build fluency when conversing and when addressing an audience. The focus is on equipping students with skills and practice not just to speak but more importantly to converse and answer questions at a presentation. The goal is to help students become confident when speaking English. 授業内容 Classes are conducted entirely in English. Class time is spent on both teaching and student-centred activities. The instructor will discuss communication techniques and strategies; help students find the right words for their expressions; elaborate on points of grammar; as well as help students refine their pronunciation. Activities include pair work, group work and whole class exercises involving information sharing and role playing to encourage real communication. Students will practise speaking English in different scenarios. They will learn how to converse, how to seek information, how to present information, how to tell others about themselves, how to ask about others, how to use language in difficult situations and so on. The emphasis is on communicative competence and on preparation for situations which students are likely to find themselves in. It is hoped that through practice, students will grow in their confidence and use their knowledge of English effectively. The materials and topics used in class are up-to-date, relevant and interesting to young people. Students will also analyse, discuss and present materials in English. Presenters are expected to answer questions from the audience. 成績評価の方法 Attendance, participation, homework and an examination. 教科書 <i>New Interchange Student's Book 2</i> , Jack C. Richards, Jonathan Hull and Susan Proctor, Cambridge University Press. 参考書 <i>Practical English Usage</i> , Michael Swan, Oxford University Press.
英語 Level 2a	M.C.Weeks	木(3)	20	本講義の目的およびねらい The main aim here is simply to help students improve their general conversation skills and confidence so that they may speak long, clearly, effectively, and enjoyably in English in any situation. Development of listening and of writing skills as requested by individual students is also a goal of this course. 授業内容 Much of each class will be spent in conversation in pairs and groups and with the teacher to maximize the amount of conversation we do. Pairings and groupings will change with each class, so that we can meet and talk with a wide range of people, keeping classes interesting and building our confidence for communicating in a variety of situations in the future. We will examine conversation techniques and language structures for numerous common situations, including meeting people, informal discussion, decision-making, problem-solving, sharing opinions, interviewing, expressing feelings, plans and hopes. Because it can be difficult to find situations for English language conversation in our daily lives, the emphasis here will be on you practicing, that is, talking and more talking. We will do some work on our pronunciation to help make our speech more easily understood and so help you gain confidence and avoid embarrassment in conversation. There will be some short, intensive listening exercises, often through video, to give us examples of effective conversation, common language structures and vocabulary. Students may work individually with the teacher on other specific skills such as writing to suit their needs. 成績評価の方法 class participation 40%, final conversation 40%, report 20%

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2a	M.C.Weeks	木(3)	20	教科書 Nil. All materials supplied by teacher 参考書 A good dictionary, preferably English-English 注意事項 English is the language of the classroom. Students more than 15 minutes late will be marked absent.
英 語 Level 2a	E.T.WHaig	金(2)	20	本講義の目的およびねらい The aim of this course is to introduce students to a new way of studying images. This approach, known as 'the grammar of visual design', seeks to develop new forms of literacy by applying linguistic concepts to visual images-including everything from children's pictures to sophisticated advertisements and works of art. 授業内容 In this course, students will be introduced to the grammar of visual design approach to visual literacy and will learn to apply it to various images. The course will consist of a combination of lectures and group work, with a considerable amount of time allotted for groups to give presentations of their analyses. The framework know as The Grammar of Visual Design comes from the work of two semioticians, Gunter Kress and Theo van Leeuwen. This course will provide a systematic account of the grammar of visual design. By looking at the formal elements and structures of design (colour, perspective, framing and composition) we shall examine the ways in which images communicate meaning. Drawing on a wide range of examples including children's drawings, textbook illustrations, photo-journalism, advertising images and fine art, as well as three dimensional forms such as sculpture and toys, we will gain an understanding of the differences and similarities between the grammar of language and that of visual communication. 成績評価の方法 Regularity of attendance and degree of active in-class participation. 注意事項 Students must bring a dictionary to each class. Very keen students might wish to try using a learner-oriented monolingual dictionary such as the <i>Longman Dictionary of Contemporary English</i> .
英 語 Level 3a	D.Ramsey	月(4)	20	本講義の目的およびねらい This advanced course will develop listening and speaking skills through drama. Vocabulary, fluency, and pronunciation will be especially improved through this course. 履修条件・関連する科目等 An eagerness for active participation. 授業内容 We will read aloud and perform dramas in class, as well as listen to and watch performances on audio and video tape. Students should read over assigned pages and prepare questions and comments beforehand, so that class time can be spent asking and answering questions, and reading aloud and performing the plays. Some class time in the beginning will be dedicated to answering grammatical questions and providing a deeper understanding of the ideas and vocabulary presented. While comprehension will be developed through some etymological explanations (word histories - focusing on Latin and Greek origins), we will spend most of our time exploring the meaning of the plays and actually performing them to develop both critical thinking as well as fluency. 成績評価の方法 Regular attendance and active class participation. 教科書 To be announced. 参考書 Dictionary. 注意事項 This class requires an outgoing personality.
英 語 Level 3a	M.C.Weeks	水(2)	20	本講義の目的およびねらい The aim of this course is to provide a context for students to practice all language skills and to increase vocabulary and cultural understanding through discussions around popular English language media texts. 授業内容 Classes will often involve short, intensive viewing of segments

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 Level 3a	M.C.Weeks	水(2)	20	<p>from current or very recent television, including dramas such as ER, comedies such as Friends and television commercials. We will learn new vocabulary and we will work at strategies to improve the difficult skill of listening to help us better understand and enjoy what we see. At other times, we will examine English in other media, such as magazines and the internet, including articles (that may require some homework reading), advertising and cartoons.</p> <p>Much of each lesson will involve discussion in pairs, groups or as a class concerning themes in the viewing or reading. There will be a wide range of activities, including problem-solving exercises, interviews and games. These will allow us to practice the useful English structures and vocabulary appropriate for informal conversation, group decision-making, sharing of information and opinions, and negotiation. We will keep records of new vocabulary.</p> <p>Students will prepare a report for writing practice and may submit writing voluntarily for feedback throughout the semester.</p> <p>成績評価の方法 participation 30%, conversation 30%, report 30%, vocabulary record 10%</p> <p>教科書 Nil. All materials supplied by teacher.</p> <p>参考書 A good dictionary, preferably English-English</p> <p>注意事項 English is the language of the classroom. Students more than 15 minutes late will be marked absent.</p>
英語 Level 3a	Chua Liang	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to refine listening and speaking skills, as well as encourage analytical and critical thinking. Students will be asked to express their ideas and opinions. Accuracy is stressed. The goal is to help students become articulate.</p> <p>授業内容 Classes are conducted entirely in English. Class time is spent on both teaching and student-centred activities. The instructor will help students express their thoughts accurately in English; help students find the right words for the ideas and opinions they want to communicate; ensure that the sentences produced are grammatically sound and easy to understand; and make sure that they speak clearly. Students are trained to be articulate individuals. Activities include pair work, group work and whole class exercises involving information sharing and role playing to encourage real communication. Through the study of articles from newspapers and magazines (on a variety of topics including current affairs and those of students' choices), students will analyse and discuss their contents. They will also present materials as well as their views and opinions to the class and answer questions from the audience. Students will also prepare and debate with each other over a variety of controversial issues. It is hoped that they will be able to use English with ease and confidence in different contexts.</p> <p>成績評価の方法 Attendance, participation, homework and an examination.</p> <p>参考書 <i>Practical English Usage</i>, Michael Swan, Oxford University Press.</p>
英語 Level 3a	E.T.W.Haig	金(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい To develop students' confidence and spontaneity in spoken interaction and to introduce students to an exciting form of drama known as improvisation and also to the work of some outstanding contemporary British dramatists.</p> <p>履修条件・関連する科目等 This is not an academic content-based course and there will be little or no discussion of 'issues' or attention paid to accuracy. The focus is firmly fixed on fluency and fun.</p> <p>授業内容 This course will begin by briefly reviewing some of the improvised drama games practiced in this teacher's intermediate course. In this part of the course, students will work in teams to perform short improvised scenes in English. These scenes do not require any memorization of</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 Level 3a	E.T.W.Haig	金(4)	20	<p>scripts but rely instead on the interaction between students' linguistic resources and their imaginations. The aim is to create a cooperative and supportive environment in which students develop their ability to work creatively with whatever communication resources they possess. Once the above target has been achieved students will move on to practicing what is known as 'readers theatre'. In this part of the course, students will perform short plays or scenes from longer plays by contemporary British playwrights. Here too there will be no requirement to memorize scripts and the emphasis will be on bringing to life the words on the page in as entertaining and dynamic a way as possible. Some of the playwrights whose work we are likely to study are Harold Pinter, Tom Stoppard, and Alan Ayckbourn.</p> <p>成績評価の方法 Regularity of attendance and degree of active participation</p> <p>注意事項 Students will be expected to expect the unexpected!</p>
ドイツ語 Level 1b	西川 智之	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい すでに初歩的なドイツ語を学んだことのある受講生を対象に、一貫した授業計画に基づいてドイツ語に関する基礎知識と運用力を養成する。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。また、ドイツ語世界が身近になるよう、ドイツ語圏の文化・風俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を養う一歩とする。</p> <p>履修条件・関連する科目等 2003年度後期開講の初級ドイツ語2の継続授業である。それを受講していない学生でも、ドイツ語の初歩的な知識を身につけた学生であれば、だれでも受講可能である。</p> <p>授業内容 授業のおおよその進行は、1. 会話等をカセットテープ、ビデオテープで聞き、見る。2. カセットテープ、ビデオテープに倣っての復唱。3. パートナーとの会話練習。4. テキストで使われている語句や文、それに関連する語句や文の意味理解。5. 文法理解。6. 小テスト</p> <p>教科書の内容 第5課 テーマ：一日の行動 文法：人称代名詞の格変化、前置詞 第6課 テーマ：余暇 文法：話法の助動詞 第7課 テーマ：買い物 文法：形容詞の格変化、比較表現 第8課 テーマ：週末のドライブ 文法：現在完了形 第9課 テーマ：ベルリン 文法：過去形、受動文、接続詞 第10課 テーマ：博物館、待ち合わせ 文法：再帰動詞、zu不定詞</p> <p>成績評価の方法 平常点・宿題・小テスト、期末テスト</p> <p>教科書 関口一郎『ハローミュンヘン(新正書法版)』(白水社)</p> <p>注意事項 ペア練習などで積極的に授業に参加する姿勢が大切な授業である。教師から教わるよりも、練習問題等を通して、ドイツ語を自発的に身につけてもらいたい。</p>
ドイツ語 Level 2a	K.v.Heuduck	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい Ziel dieses Unterrichts ist, anhand des unten genannten Lehrwerks einen direkten Zugang zur deutschen Sprache, zu Land und Leuten, zu Kultur und Kommunikation zu bieten, gezeigt an Beispielen moderner Lebenswirklichkeit an verschiedenen Schauplaetzen in deutschsprachigen Laendern. Von Fall zu Fall wird in Ergaenzung dazu auch Video eingesetzt.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Dieser Kurs ist nur fuer Studenten gedacht, die keine der fuer das 1. und 2.Studienjahr vorgesehenen Einheiten im Wahlpflichtfach Deutsch mehr benoetigen oder die ueber entsprechende Grundkenntnisse verfuegen.</p> <p>授業内容 Im oben genannten Sinne werden im Laufe des Studienjahrs</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ドイツ語 Level 2a	K.v.Heuduck	水(3)	20	<p>2004 6 Staedteportraits vorgestellt und sprachlich erarbeitet: Aachen (L 13), Dresden (L 14) und Wien (L15) im Sommersemester, Zuerich (L 16), Stuttgart (L 17) und Hannover (L 18) im Wintersemester.</p> <p>Obwohl ein ausgewogenes Training der vier Grundfertigkeiten geboten wird, liegt der Schwerpunkt auf kommunikativer und handlungsorientierter Sprachvermittlung. Neben der aktiven Teilnahme an den vielen verschiedenen praktischen Uebungen im Unterricht werden die Teilnehmer auch aufgefordert, zur Vorbereitung Hausaufgaben zu machen.</p> <p>成績評価の方法 ACTIVE Teilnahme im Unterricht. 教科書 Passwort 3, Kurs- und Uebungsbuch (Edition Deutsch Klett, Stuttgart; ISBN: 3-12-675840-1). 参考書 和独辞典 (都文堂)。新アポロン独和辞典 (同学社)。 注意事項 Regelmässige Teilnahme! Dieser Kurs erstreckt sich ueber ein ganzes Studienjahr und wird im Wintersemester von Joerg Peters fortgesetzt.</p>
ドイツ語 Level 2a	浪川幸彦	金(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 聖書は「書物の中の書物」として、文化的・思想的にきわめて深いものを持っている。本講義では、「聖書入門」として、聖書(旧約・新約)の思想の一端を学ぶことを主目的とするが、特にこれをドイツ語で学び、また聖書本文を歌詞とする音楽を併せて観賞することにより見えてくる内容に注目する。</p> <p>キリスト教は「言葉」の宗教であり、聖書は文学作品としても素晴らしい。聖書は神について語るが、同時に人間の本質についてもきわめて深い認識を持つ。</p> <p>履修条件・関連する科目等 ドイツ語の基本(文法および語彙)は既知のものとする。むしろきちんと辞書を引けることが重要である。 また西洋文化および宗教への関心と敬意を持っていることが必要。</p> <p>授業内容 「聖書、ドイツ語、音楽」 1. 聖書入門 聖書の概要、構成、成立、特色(特に言葉) 2. 宗教改革 ルターの聖書ドイツ語訳とその文化的影響 3. 旧約聖書・新約聖書 キーワード 4. 天地創造 歴史宗教としての旧約聖書 ハイドン「天地創造」 5. 十戒の付与 律法 聖書の神観(唯一神、人格神) バッハのオルガン曲 6. 預言書 神による救いとは(救済史観) ヘンデル「メサイア」 7-10. 詩篇 信頼・讃美・祈り 信仰の様々の形 バッハのモテット他 11. 山上の垂訓 「福音」とは何か? ブラームス「ドイツ・レクイエム」 12. イエスの降誕(クリスマス) バッハ・クリスマスオラトリオ他 13. イエスの受難 バッハ、シュッツの受難曲 14. イエスの復活 バッハ 復活祭オラトリオ 15. 書簡(愛の賛歌) ブラームス 四つの厳粛なる歌</p> <p>成績評価の方法 レポート。出席状況を加味する 教科書 日本語聖書(新たに求めるなら新共同訳)、ドイツ語訳もあればなお良い 参考書 矢内原忠雄・森有正・宮田光雄の著作は参考になる</p>
フランス語 Level 1a	飯野和夫	火(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。</p> <p>履修条件・関連する科目等 新たにフランス語を始める学生のためのクラス。</p> <p>授業内容 週一度の授業で一年間かけてフランス語の基礎を修得するクラス。後期金曜5限の授業に接続する。フランス語を実際に使いこなすという観点から授業を進めたい。教科書は、学習項目をオーソドックスに配列したものをを用いる。</p> <p>フランス語の基礎の習得のヤマは、なんと言っても動詞を使いこなすことにある。ふつう、フランス語というと発音の難しさが強調されるが、母語</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
フランス語 Level 1a	飯野和夫	火(5)	20	<p>のようになろうとする人は別として、意思疎通可能な範囲での発音はさほど難しくない。この授業にきちんとついてくれば、一年後には確実に、フランス語の文章を読んだり、フランス語会話がそこそこできたりするまでになる。がんばろう。</p> <p>成績評価の方法 平常点と筆記試験。</p> <p>教科書 『新・ゆっくりいそげフランス語 (CD付き)』(芸林書房)</p> <p>参考書 辞書・参考書については授業中に適宜指示する。</p> <p>注意事項 定員は20名。</p>
フランス語 Level 2a	J.L.Pagès	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>L'objectif principal est de pouvoir maitriser une prise de parole spontanee dans differents contextes culturels francophones et professionnels.</p> <p>授業内容 Le cours s'appuie sur une progression reguliere partant du monologue et du dialogue jusqu'a la participation a un debat collectif. Des mises en situation, en particulier la communication dans le cadre de voyages dans un pays de la francophonie (Canada, France, pays africains,...), sont analyses et interpretes par les etudiants eux-memes a la suite d'exercices et de jeux de roles. L'assimilation de structures orales courantes passe par le repereage du vocabulaire et de syntaxes interrogatives, negatives et affirmatives. A partir de l'ecoute de differents supports audio-visuels, ce cours de conversation aura aussi un objectif phonetique pour l'amelioration de la prononciation. Il est demande que l'ecoute du francais en dehors des cours soit possible sur Internet et des radios numeriques.</p> <p>NOTATION : L'evaluation est repartie par tiers entre l'assiduite et la participation en classe, avec notamment un expose, et l'enregistrement sur cassette audio d'une sequence de 12 minutes environ sur un sujet choisi en accord avec l'etudiant(e) et le professeur. Le dernier tiers de la note est donne a l'issue d'un entretien oral de 20 minutes ou l'etudiant presente son travail enregistre.</p> <p>成績評価の方法 出席・授業への積極的参加、課題提出、試験 (授業内容参照)</p> <p>教科書 Emissions de radios numeriques, information televisees, sequences et reportages videos ; textes photocopies.</p>
フランス語 Level 3a	J.L.Pagès	火(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>日常生活のフランス語を超えて、幅広い領域での高度な実践に耐え得るフランス語の修得を目指す。専門的なテーマについて議論を行なうことができる表現力・聴解力、専門的な論文を作成することができる文章力を養成する。</p> <p>履修条件・関連する科目等</p> <p>中級フランス語1修了者、もしくは、それと同等程度のフランス語能力を有する者。フランス語学修4年目のレベル。</p> <p>授業内容 Ce cours est d'abord consacre a la maitrise redactionnelle en francais avec un rappel des bases syntaxiques et formelles. Ordonner son discours pour ordonner ses idées, tel est le principal objectif pour maitriser l'argumentation.</p> <p>Cette initiation a la recherche s'adresse à ceux desireux d'ecrire un travail universitaire (dissertation, memoire, these) en langue francaise. Concu avec des fiches pratiques mis a disposition des etudiants, le cours aborde aussi les differents cadres conceptuels et les questions methodologiques dans les sciences humaines. Le plan, la problematique, la bibliographie, la redaction, la soutenance, les bases de donnees et les differentes methodes de recherche sont autant d'outils pratiques que le (futur) chercheur doit maitriser.</p> <p>Il est conseille de pouvoir suivre l'integralite des deux semestres, l'evaluation se faisant sur le traitement d'une dissertation pour le premier semestre et des travaux relatifs au sujet de recherche de l'etudiant(e) : presentation en un paragraphe, resume synthetique et enfin presentation en 4-6 pages qui doivent servir au memoire et/ou a la publication d'un article en langue fancaise ou traduit.</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
フランス語 Level 3a	J.L.Pagès	火(3)	20	成績評価の方法 宿題、授業への参加、授業中の文章の提出、学期途中及び学期末の試験により判定する。 教科書 授業中に指示する。
ロシア語 Level 1a	郡 敏子	火(2)	20	本講義の目的およびねらい 新たにロシア語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、ロシア語の基礎を学ぶための科目である。バランスよくロシア語を学べるよう、基礎文法の学習だけでなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行う。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識を学習することによりロシア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「ロシア語に触れる」である。 授業内容 ロシア語の基礎を学ぶための科目で基礎文法の学習を主眼とする。さらにそれに加えて、ロシアの文化・現実も覗いてみたい。 授業テーマ 1. 文字と発音(1) 2. アクセントと基本的な平叙文と疑問文(1) 3. 文字と発音(2)、基本的な平叙文と疑問文(2) 4. 名詞の性 5. 文字と発音(3)、動詞の現在人称変化(1) 6. 子音の同化、アルファベット 7. 名詞の複数形と正書法の規則 8. 所有代名詞と疑問代名詞 9. 名詞の格と指示代名詞 10. 形容詞の性・数の変化 11. 動詞の現在人称変化(2) 12. 前置格と前置詞 13. 動詞の過去形、生格 14. 所有の表現とその否定 15. 対格、活動体と不活動体 成績評価の方法 試験に加え授業参加を重視 教科書 桑野隆著「はじめてのロシア語」(第2版)(白水社) 注意事項 音読と辞書引きは不可欠。
ロシア語 Level 2a	山崎 タチアナ	金(3)	20	本講義の目的およびねらい ロシア語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習うロシア語から使うロシア語」を指向する科目である。さらに高度な文法知識を得ると同時に、生のロシア語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけロシア語を用いる。また、言語文化1あるいは初級ロシア語に引き続き、さらにロシア語世界の理解を深める。目標は「ロシア語を活かす」である。 授業内容 ロシア語の基本的な表現を用いた会話の練習をする。また発音の練習も行う。授業に出席するだけでなく、積極的に参加することが必要である。ロシア語についてあるいはロシアに関することで疑問に思うことは何でも質問して欲しい。授業のテーマは以下を予定している。 1. 挨拶 2. ロシアについて 3. 私の趣味について 4. 時間の表現 5. 買い物について 6. 家族について 7. ロシアの料理 8. ロシアの歴史 9. ロシアの文学 10. スポーツについて 11. 出会いと別れ 12. ロシアの自然 13. 天気について 14. ロシア語について 15. 民話 成績評価の方法 平常点と試験(授業への参加度を重視する) 教科書 プリント配布

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
中国語 Level 1a	加納 光	水(1)	20	<p>本講義の目的およびねらい 第三外国語として、初めて中国語を学ぼうとする学習者を対象とする。 この授業においては、中国語の発音及び基礎的文法事項を学び、今後中国語の学習を続けていくうえで必要となる基礎力の養成を目的とする。 履修条件・関連する科目等 院生及び教職員も受講対象とする。</p> <p>授業内容 この中国語 Level 1aの授業では、まず411の音節を、声調を伴って正確に発音できるように指導していく。同時に文法的項目としては、名詞述語文・形容詞述語文・動詞述語文・疑問詞・量詞・否定の副詞・助動詞などを学ぶ。教科書の内容に関連して、中国の風俗・文化などを理解する。</p> <p>成績評価の方法 平常点と期末試験による。 教科書 加納光・白木通・成戸浩嗣著『ようこそ、中国語の世界へ』（白帝社）</p>
中国語 Level 2a	劉 欣	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい この授業はかなり高度な聴解力と口頭表現力など特定の運用能力にしぼって行われ、受講者の専門的要請にも対応できる高度な実践的運用能力の養成を目指す。学習意欲が旺盛でなければ授業についていくことはできない。目標は「中国語を活かす」である。 履修条件・関連する科目等 中国語の初級文法を習得していること</p> <p>授業内容 中国のビデオドラマを放映しながら、そこで用いられている表現を正確に聞き取る力、また、そこで用いられている表現を応用した口頭表現力養成の練習をしていく。 この授業は中国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし、「習う中国語から使う中国語」を指向する。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の中国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するため、できるだけ中国語を使うようにしたい。言語文化Ⅰ、中国語 Level 1aに引き続き、さらに中国語世界の理解を深めていきたい。 成績評価の方法 授業で説明する。 参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p>
スペイン語 Level 1a	杓谷 茂樹	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 基礎的な文法を学習しながら、平易な会話・作文練習を行い、初歩的なスペイン語能力を養っていく。 世界20カ国に及ぶスペイン語圏の社会や文化にも時折触れつつ、言語学習へのいっそうの興味を促していきたい。 履修条件・関連する科目等 特になし。初心者のみならずある程度の学習歴のある受講者も可。</p> <p>授業内容 まずは簡単なあいさつ表現の学習と発話練習を行い、その後はテキストに沿って人称代名詞、冠詞、動詞の活用（直説法現在形）、目的格、接続詞など、無理のないペースで文法事項を学んでいく。 「大学でスペイン語を学ぶ2名の女子学生がスペインを旅行する」という設定のテキスト内容であるため、実際に旅行した際に役立つ表現を中心に習得していくこととなる。 教科書は次のように構成されている。</p> <p>文字と発音 第1課 機内で 第2課 空港案内所で 第3課 タクシーで 第4課 マドリードからの手紙 第5課 ホテルで 第6課 市場で 第7課 デパートで 第8課 旅行会社で 第9課 地下鉄と闘牛場の切符売り場で</p> <p>成績評価の方法 出席態度、試験などにより総合的に判断する。 教科書 『＜改訂版＞コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）。 参考書 西和辞典。 注意事項 週1回の授業であるので、積極的な学習への取り組みが求められる。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
スペイン語 Level 2a	宮下克子	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 一年次または初級スペイン語で学んだ文法の知識をもとに、聞き取り、文法、作文、読解などのさらなる力の向上を目指す。 履修条件・関連する科目等 第 1 期のスペイン語 1・2・3・4 または初級スペイン語 1・2 の授業を終えている、もしくはそれに相当する基礎知識を有すること。 授業内容 以下の 5 つの内容から構成される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聞き取り 2. 会話 (紹介、人物の描写、嗜好の尋ね方、答え方、文房具や衣服の買い物、etc.) 3. 文法の復習と問題 (点過去、aI + 不定詞、現在分詞、線過去、進行形過去、複合名詞、de を用いた表現、未来形、進行形未来、過去未来、形容詞の名詞的表現、por を用いた表現、受け身、関係代名詞。テキスト：Camino real 2) 4. 文法で学んだ表現を用いた作文 5. ラテンアメリカの短編を読む <p>成績評価の方法 1. 出席状況。2. 学習に向かう姿勢。3. 学期末のレポート。 教科書 白水社『Camino real 2』 参考書 授業時に紹介する。 注意事項 教科書購入の際、『Camino real』の『2』を購入すること。</p>
朝鮮・韓国語 Level 1a	洪 順 愛	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい 新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象 とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。 バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行なう。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識 を学習することにより朝鮮・韓国語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩 とする。目標は「朝鮮・韓国語に触れる」である。 授業内容 この授業では次のような能力を養成する。 書記法...ハングル (朝鮮・韓国文字) の構成を理解し、確実にかつ美しく書けるようにする。 発音...韓国語の母音と子音を正しく発音し聞き分けられるようにする。特に、日本語にはない終声 (パッチム) や平音・濃音・激音の区別などに慣れるように練習する。また、朝鮮・韓国語リズムやイントネーションで文章を発話できるようにする。 ハングルの正しく読むための音韻規則のうち連音化、有声化、鼻音化など基本的なものを着実にマスターする。 文法...初歩的文法を学習する。学習する主な文法事項は次の通りである。 ・用言の種類による文種 (指定詞文・存在詞文・形容詞文・動詞文) ・機能別の文種 (平叙文・疑問文) ・否定文 (長い否定と短い否定) ・数詞 (漢数詞・固有数詞) ・基本的な助詞 (「は」「が」「を」「も」「に」「で」「から」「まで」「と」などに相当するもの) ・文体 (あらたまった丁寧体) 口頭表現力...日常よく用いられる典型的な挨拶表現などを適切に使えるようにする。 成績評価の方法 出欠状況、小テスト及び期末試験の成績により総合的に評価する。 教科書 自家版教材『楽しい韓国語』(教室で頒布する) 参考書 授業中に指示する。</p>
朝鮮・韓国語 Level 2a	金 元 榮	月(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではで</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・韓国語 Level 2a	金 元 榮	月(4)	20	<p>きるだけ朝鮮・韓国語を用いる。 また、言語文化 あるいは初級朝鮮・韓国語に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。 授業内容 この授業では初級朝鮮・韓国語あるいは言文 の学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。 次のような表現内容別に基本的な表現形式を練習し、確実に使えるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 疑問 2) 否定 3) 感嘆 4) 依頼・指示・禁止 5) 願望 6) 勧誘・提案 7) 意志・予定 8) 推量・推測 9) 引用・伝聞 10) 可能・不可能 <p>成績評価の方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。 教科書 プリント教材。 注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
朝鮮・韓国語 Level 3a	飯 田 秀 敏	月(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい 実用に耐え得る高度の運用能力の習得を目指す学生を対象とし、口頭表現力および聴解力の養成を目的とする。 履修条件・関連する科目等 言文 (朝鮮・韓国語中級) を履修していることが望ましいが、同等の力があると判断される場合には受講を許可する。 授業内容 2、3回の授業を一つのみとまりとして、TVニュース・ドラマの理解、スピーチ、討論、言語遊戯など様々な口頭表現力および聴解力の養成する実験的な授業を行う。各回の授業は、国際言語文化研究科の韓国語教授法関係の授業とタイアップしており、その受講生の企画に基づいて行う。 成績評価の方法 出席状況、平常点により評価する。 教科書 プリント教材。</p>
古典ギリシア語 Level 1a	有 川 貴 太 郎	月(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 古典ギリシア語を最初歩から学ぶ科目。ゆっくりと学んでいけばゆくゆくは、プラトンなどの哲学書、トゥキュディデスなどの歴史書、ホメロスやソポクレスなどの文学、また新約聖書を原典で読むことが可能になるでしょう。この授業はそのための導入となるものです。ギリシア文化は欧米文化の重要な底流のひとつであり、私たちの日常にも意外に多くのギリシア語由来の言葉を見いだすことができます(この「シラバス」ももとはギリシア語)。言葉とともに古代ギリシア世界の地誌や文化に親しむことも目的です。 履修条件・関連する科目等 とくにありません。すこしでも興味のある人は、自由に参加してください。 授業内容 黒海から積荷をのせた船が今アテネの港ピレウスに入ろうとしている。遠くにはアテネ像の輝くアクロポリスの丘も望まれる。その船上のシーンからこの教材は始まる。「こちらにきてごらん、アクロポリスが見えるよ」。 イギリスのギリシア語教育者たちの編集になるこの教材は、古典作品を巧みにアレンジして作られています。私たちはソクラテスの生きた時代のアテネにタイムスリップして、ギリシア語の世界に導かれ、そこで話される「生きた言葉」としてのギリシア語を学ぶことができます。 アルファベット(ギリシア語のはじめの文字アルファ、ベータからきた語!)の文字とその発音から始めて、やさしい対話形式の教材にそって、文法を含めた言葉の基礎を学んでいきます。教材前半の、アリストパネスの喜劇をアレンジしたやさしい劇はきっと興味をそそられるでしょう(間接的にソクラテスも登場)。文法としては、名詞類の変化、動詞の変化を中心に、多くの変化を学ばなくてはなりません。体系的にかつ精密にゆっくりと学んでいきます。 成績評価の方法 平常の達成度、提出課題などによって総合的に評価します。 教科書 Reading Greek: Grammar, Vocabulary and Exercises. (The</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
古 ギリシア語 Level 1a	有川貴太郎	月(4)	20	Joint Association of Classical Teacher's Greek Course). Cambridge University Press. 参考書 Reading Greek: Text (The Joint Association of Classical Teacher's Greek Course) Cambridge University Press. 注意事項 教科書の入手法については授業で指示します。 前期と後期で開講時間が変わります。学ぶ事項が多いので、欠席しないことが大切です。
ポルトガル語 Level 1a	兼安シルビア 典子	木(3)	20	本講義の目的およびねらい 本授業は、初めてポルトガル語を習う人たちを対象にしており、日常生活に必要な基本的な会話が、話せて聞けるようになることを目的とする。 授業内容 本授業は配布するプリントに基づいて進められるが、ブラジルポルトガル語の最も基礎的な文法事項から始め、十分な練習問題を織り混ぜながら順次ステップアップし、発音クリニックを行いながら「聞く・話す・読む・書く」という総合的運用力を付けて基礎的な会話力を強めてゆく予定である。 成績評価の方法 定期試験等で総合的に判定。 教科書 なし。プリントを配布。 参考書 特にないが、辞書が必要である。ポ日のどの辞書でもかまわないが、これから購入される場合は次のものを推薦する：『現代ポルトガル語辞典』池上岑夫他編、白水社。
ポルトガル語 Level 2a	兼安シルビア 典子	木(4)	20	本講義の目的およびねらい 本授業は、既にポルトガル語の基礎を身に付けた人たちを対象にしており、受講者のレベルに従って実践的な応用力を付けることを目的とする。 履修条件・関連する科目等 「初級ポルトガル語 1・2」を履修していること、または、それに準ずるポルトガル語の知識を有すること。 授業内容 本授業では、受講者のレベルによって内容を調節するつもりであるが、基本的にはブラジルの小説や記事などを講読し、それに基づく文法事項の説明やそのテーマに関する議論をしながら実践的な応用力を付け、ポルトガル語による会話力を強めてゆく予定である。また、受講者の関心に応じてブラジルの文化や生活習慣の紹介も併せて行ってゆきたい。 成績評価の方法 定期試験等で総合的に判定。 教科書 なし。コピーを配布。 参考書 特にないが、辞書が必要である。ポ日のどの辞書でもかまわないが、これから購入される場合は次のものを推薦する：『現代ポルトガル語辞典』池上岑夫他編、白水社。
ラテン語 Level 1a	水戸博之	火(4)	20	本講義の目的およびねらい ラテン語の習得はかなりの量の語形変化がともなうので、ともすると挫折しがちです（かく申す私も今だに泣いています）。なんとか、変化を記憶する負担を軽減する途はないだろうか。それはラテン語を現代語のように学ぶこともかもしれません。ローマ時代にタイムスリップして、当時の日常にふれながら、ラテン語を生きた言葉として学びたいと思います。 履修条件・関連する科目等 とくにありません。自由に参加してください。 授業内容 イギリスで作られたこの教材は、われわれが初めて英語を習ったときのように、やさしい日常のシーンから始まります。ヴェスヴィウス山の麓、ポンペイの町に住むある商人の家族。（これは実在した家族で、今でも遺跡をみることができます）「カエキーリウスは父です」。母、息子、そして奴隷たち。家の様子、市民たちの日常。 時あたかも紀元79年、やがて火山が爆発して…… この教材で上級に進めば、ヴェルギリウスなどの原典も扱われますが、まずはしっかりと基礎固め。「フェスティナー・レンター（ゆっくり急げ）」。 ラテン語も日常語だったことを思いながら、自然な発音ができるように練習しましょう。部分的にはテープもあります。 文法は適宜説明します。 今年も、水戸（スペイン語・ポルトガル語学）が担当します。 成績評価の方法 出席とレポート、期末試験を総合して評価します。 教科書 CAMBRIDGE LATIN COURSE, UNIT 1 (North American

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
ラテン語 Level 1a	水戸博之	火(4)	20	Edition) 参考書 文法書はとくに指定しませんので、各自自分に合ったものを買って求めてください。 辞書は、田中「羅和辞典」(研究社)、または英独仏西語等によるラテン語辞典。 インターネットでも、ラテン語学習に役立つサイトがあります。探索してみましょう。 注意事項 基本的には2002年度の有川先生の授業と同内容ですが、担当者が水戸になります。
オランダ語 Level 1	小坂光一	水(2)	20	本講義の目的およびねらい なるべく多くの言語に触れていただくことを目的としている。 履修条件・関連する科目等 もっぱら口頭練習をするので、毎回出席できることが履修の条件となる。 授業内容 オランダ語は英語とドイツ語の間のような言語である。従って、英語かドイツ語のできる人にとっては極めて学びやすい言語である。両方知っていればなお学びやすい。 この授業ではオランダ語会話入門とでもいうべき授業をし、オランダ語会話への導入を図りたい。 成績評価の方法 平常の授業への貢献度 教科書 『エクスプレス オランダ語』(白水社)及びプリント教材 参考書 オランダ語辞典(講談社) 授業のためには必要ありません。 注意事項 授業に来たり来なかつたりする人は絶対にお断りします。
イタリア語 Level 1a	C.Galisch	水(4)	20	本講義の目的およびねらい イタリア語の基礎を習得し、イタリア語の文章を読み書き、イタリア語を話せるようにすること。 履修条件・関連する科目等 2期(前期と後期)連続で履修することが望ましい。 授業内容 イタリア語文法の基礎事項を解説しつつ、簡単な文章を読んだり書いたりすることを学習させる。会話の練習では現代イタリア語でよく使う表現を学び、イタリア語による表現能力の習得に重点を置く。 成績評価の方法 レポート(イタリア語による文章作成)の採点による。 教科書 指定しない。会話の教材のみ必要に応じてプリントを配布する。 参考書 自習用に、自分に合ったイタリア語入門テキストとイタリア語辞書を選び入手すること。

言語文化・言語表現セミナー

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英語文化 セミナー	滝沢直宏	月(3)	20	本講義の目的およびねらい 英文の正確な読解には、語法と文法に関する精密な知識が必要である。この授業では、英語の語法・文法に細心の注意を払いつつ、英語という言語の歴史の変遷や文化的背景を扱った文献を、時間をかけて読むことで、読解力を養成する。英語に関する背景知識を得ること自体も目的とする。 授業内容 授業で読むことになる文献のテーマには、以下のものが含まれる。 (1) 英語の起源と系統 (2) 英語の借用語 (3) 英語の歴史の変遷 (4) 英語の語彙に貢献した文人 (5) 英国の文化史と借用語や語義変化との関連 各受講生には、授業で読む予定の箇所を翻訳し、レポートとして、毎週、

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 文 化 言 語 文 化 セ ミ ナ ー	滝 沢 直 宏	月(3)	20	<p>提出して貰う。また授業時に小テストを行い、内容理解の確認を行う。その小テストには、大学生として当然、知っているべき語彙力のテストも含める。</p> <p>授業では文法用語を多用するので、高校までに習った英文法を徹底的に復習した上で、授業に参加することが望まれる。文法の復習には、安井稔『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎『英文法解説』（金子書房）などを参照すること。</p> <p>授業での精読だけでは不十分なので、授業外で、関連したテーマの文献を多読し、その内容の報告を学期末レポートとして提出して貰う。（評価は、読んだ量に比例させる。）</p> <p>成績評価の方法 レポート（毎回、授業終了時に提出）、小テスト（数回）、学期末レポート</p> <p>教科書 プリント。初回に指示する。</p> <p>参考書 英英辞典。英語史関連の書籍。詳細は初回に指示する。</p>
英 語 文 化 言 語 文 化 セ ミ ナ ー	長 畑 明 利	火(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>英和翻訳の練習を通して、英語と日本語それぞれの言語についての理解を深める。一つの言語で書かれた文章を別の言語の文章に置き換えることの意味について考える。</p> <p>履修条件・関連する科目等</p> <p>学習への意欲と知的社会的関心。英語リーディングの単位を最低2単位取得していること（学部生の場合）。</p> <p>授業内容 英和翻訳のワークショップ。毎週与えられた課題（250ワード程度の英文2種類を予定）を日本語に翻訳する。それぞれの課題文の担当者をあらかじめ決めておき、担当者は自分の訳文を授業用の掲示板に投稿する。受講者はこれをダウンロードしたうえで授業に出席する。授業では、課題文についての解説の後、担当者の訳文について検討する（受講者全員が担当者の訳文についてコメントを求められる）。基本的には緻密な英文解釈の授業であり、文法事項、構文、文化的背景等に留意しつつ課題に取り組むことになるが、実技を通して、翻訳行為を客観的に眺めることも試みる。</p> <p>課題文は小説の抜粋、新聞・雑誌のコラム、論説文、映画のスク립トなどを予定している。</p> <p>将来英語を用いて仕事をすることを考えている者、留学希望者、大学院進学を考えている者には有益な授業となろう。</p> <p>成績評価の方法 学習への意欲、課題への取り組み、授業時のコメント、期末試験などによる。</p> <p>教科書 インターネット上の英文あるいはプリントを使用する。</p> <p>参考書 河野一郎『翻訳のおきて』（DHC）、村上春樹・柴田元幸『翻訳夜話』（文春新書）、その他授業時に、またHPにて紹介する。</p> <p>注意事項 実力を付けたい人のためのクラス。欠席3回で単位放棄とみなす。授業のHPも参照のこと。なお、シラバスとHPに矛盾が生じた場合はHPのほうに従うこと。</p>
英 語 文 化 言 語 文 化 セ ミ ナ ー	福 田 眞 人	木(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>現代社会の諸問題を、過去の歴史的経緯などを踏まえて読み込む訓練を行う。</p> <p>多読と精読の両方を行う。</p> <p>問題の所在を確認し、それを全員で確認し、議論することで、解決方法を探る。</p> <p>議論の方法を学ぶ。</p> <p>日本語での議論から、英語での議論への橋渡しを行う。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 英語の学習方法全般に関する注意事項、目標を語る。 (2) 授業の進め方、注意事項、成績の付け方を解説する。プリントの入手方法を伝達する。 (3) 社会問題、政治問題など網羅的に議論し、議論の素地を作る。 (4) 環境問題の総体を探り、個々の問題の基礎知識を深める。さらに解決方法を議論する。 (5) 医療問題。医学の発達と医療の進展を辿りつつ、医学の持つ根元的問題点を追究する。特に医学史的観点からの詳細な問題提起が行われる予定。副読本の多数がある予定。 (6) 疾病、疫病問題。歴史的に多くの問題をはらんできた病気の変遷を辿

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英語文化セミナー	福田 真人	木(3)	20	<p>り、かつその対策の有効性、失策等について詳細に検討する。ペスト、コレラ、結核、梅毒、インフルエンザと資料を見る。</p> <p>(7) 民族問題。民族の独立とそれに付随する闘争の歴史を辿る。</p> <p>(8) 宗教問題。民族の対立に輪をかけるのが、宗教問題である。宗教の多様性、効用と共に、その底に潜む問題点についても語る予定である。個別の宗教への攻撃でないことは言うまでもない。</p> <p>(9) 家族問題。近代、現代の家族の問題を浮き彫りにする。</p> <p>(10) こうした問題へのアプローチを検討し、かつ議論の素地を作る。</p> <p>成績評価の方法 出席 (10%)、発表・議論 (30%)、レポート (20%)、試験 (40%)</p> <p>教科書 プリント作成。各人がコピーして準備。</p> <p>参考書 シゲリスト『文明と病気』岩波新書 福田真人『結核の文化史』名古屋大学出版会 福田真人『結核という文化』中公新書1615</p> <p>注意事項 多読に耐えられること。 議論をすることに抵抗感のある者には困難がある。前向きな取り組みを望む。 問題解決のための全体の議論に参加できる度量が必要。</p>
英語表現セミナー	大名 力	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 電子コーパス等を利用し、英語による表現能力を伸ばすこと、および、文章の構成を捉えて英文の内容を読み取り、それを英語で表現できることを目指す。</p> <p>授業内容 この授業では、主に次の2つのことを行う。</p> <p>1) 英英辞典、電子コーパス等を利用し、自然な英語を書くために必要な情報 (特にコロケーションに関する情報) を得、作文に活用する方法について学ぶ。</p> <p>2) 文章全体の構成に注意して内容を捉える訓練をする。最初に英語でのノートの取り方やパラグラフフリーディングのポイントについて説明した後、実際に段落構成を押さえながら読む練習を行なう。ほぼ毎週、指示された文章を指定の形式 (アウトライン形式等) でノートにまとめたものを課題として提出してもらう。</p> <p>どちらの場合も、共同作業を多く含むので、他の受講生と一緒に協力して作業することが求められる。</p> <p>成績評価の方法 毎週の課題および学期末試験による。</p> <p>教科書 特定のテキストは使わず、プリントを使用する。</p> <p>参考書 英英辞典を使用する。新たに購入する場合には1回目の授業での説明を参考にすること。</p> <p>注意事項 インターネットを利用し情報を収集したり、電子メールで課題を提出したりするので、基本的なウェブブラウザと電子メールソフトの使い方の知識が必要。その他、コンピューターを使った活動を行うが、使い方については授業で説明する。</p>
英語表現セミナー	杉浦 正利	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい 英語でわかりやすい文章が書けるように文章構成法を習得することを目的とする。</p> <p>和文英訳ではなく、自分の意見を、事実に基づき合理的に英語で論述することができるようにする。</p> <p>インターネットを使った英語での情報発信や、将来、専門論文を英語で書く時に、指針となる英語文章構成法の根本原理を学んでもらいたい。</p> <p>授業内容 五百語から千語程度の「エッセー」(小論文) を実際に書くことを通して、いかにわかりやすい文章を書くかということ学ぶ。エッセーはコンピューターを使って書き、インターネット上で閲覧できるようにする。いわゆるホームページの作成に使われるHTMLを使い、英語の文章に構造を持たせる方法を学ぶ。</p> <p>具体的には以下の項目を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文章を書くとはどういうことか 2) 構造と言語表現化 3) パラグラフの構造 4) 論文 (エッセー) の構造 5) 文章構成法の基本パターン 6) 構造をあらわす表現

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英 語 文 化 セ ミ ナ ー	杉 浦 正 利	水(3)	20	<p>7) HTMLと文章構造 8) アウトラインの書き方 9) 文章化の方法 10) 推敲のポイント</p> <p>毎回、授業の初めに英語論文でよく使われる表現の小テストを行う。各授業では、学習 項目の解説と実際の英語文章作成演習を行う。 この授業を受けることで、だれでもわかりやすい文章を書くコツがわかるようになる。 また、将来、英語で専門論文を書く人にとってもその基礎を学ぶことができる。</p> <p>成績評価の方法 出席、平常点、期末試験の三つの観点より総合的に評価する。</p> <p>教科書 藤本滋之『やさしく書ける英語論文』松柏社 参考書 名古屋大学言語文化部『インターネットと英語学習』開文社出版 注意事項 コンピューターを使うが必要な操作は授業中に教えるので、コンピューターの操作に慣れていなくても心配ない。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	E.T.W.Haig	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>This course aims to introduce students to the field of sociolinguistic research known as Critical Discourse Analysis and to help them improve their academic reading and critical thinking skills.</p> <p>授業内容 Critical Discourse Analysis (CDA) is a new interdisciplinary approach to the study of social problems such as globalisation, the environment, gender issues and racism. As one of the most radical (and controversial) fields in the humanities, CDA differs from conventional sociolinguistic approaches to social issues in that it goes beyond mere description of textual phenomena to the interpretation and evaluation of the complex relationships between language, discourse, ideology and power.</p> <p>The course will consist of four parts. First, we will consider the theoretical basis of CDA, locating this new approach in relation to earlier and alternative approaches. Second, students will be introduced to some of the main methods of CDA. Third, working in groups, students will use CDA to conduct a brief investigation into an issue of their choice, concluding with a group presentation. Finally, in the light of their experience, students will be asked to reflect critically on the strengths and weaknesses of CDA itself.</p> <p>成績評価の方法 Attendance, active participation, group presentation, final report.</p> <p>教科書 None. Materials to be supplied by the instructor. 参考書 None. However, students may wish to try using a learner's English-English dictionary.</p>